

令和1年度 第4回 看護師職能集会報告書

- 日 時：令和2年2月1日（土） 10:00～15:00
- 場 所：岡山県看護会館4階 マスカットホール
- 参加者：56人（会員35人 非会員20人） 職能委員11人 計 67人

令和2年2月1日（土）岡山県看護協会で、第4回看護師職能集会・交流会「暮らしの場での看取りを一緒に考えましょう」を開催し、56名の方が参加されました。

午前中はシンポジウム3題と講演を行いました。

1. 「在宅での看取り」として、ケアプランセンターわらてい、ケアマネージャー向谷敬子先生がターミナル期のケアマネージャーの役割は本人・家族・各種サービスにつなぎ早急に動く。最後まで本人・家族に寄り添う。病状が急速に変化するので主治医・訪問看護ステーションなどと情報交換しケアプラン修正・追加する。看取りが終わった後もグリーンケアを行うなど調整役である。
2. 「小規模多機能での看取り」として看護小規模多機能型居宅介護たんぼぼ、介護福祉士介中麻矢先生が看取りの後グリーンケアに力を入れた支援体制に努めている。利用者・家族の思いを実現し、お互いに納得した最期を迎える支援をする。ケア体制を整え、チームとして組織として一貫したチームケアを行うことが重要である。
3. 「特別養護老人ホームでの看取り」として倉敷シルバーセンター、看護師高本美恵子先生が尊厳死を目指すなら、出来ない決めつけず、どうしたら出来るかを考える必要がある。柔軟な対応と施設努力が最大限の希望に沿うことが大切である。

シンポジウムの後の質問が多く、もっと現場の様子を知りたいという内容でした。

講演 「ACPと連携」社会医療法人 高見徳風会 谷村 怜子先生

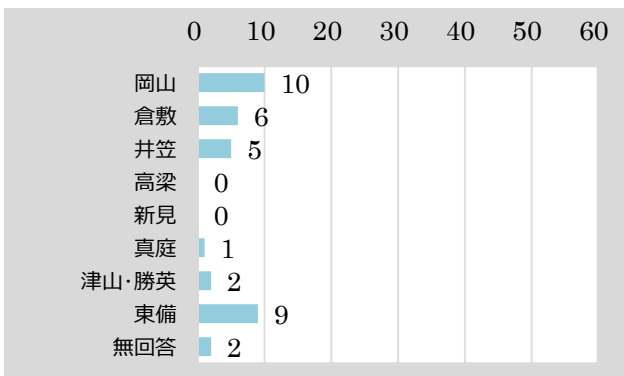
施設でのケアプラン決定は、本人を交えているだろうか、何も言えなくても同席してもらうことも必要、日本の文化で自分の死について語ることをタブー視されてきているため、暗く・辛いイメージがある。なので、ACPが広がらないと考えられる。意思決定のプロセスのあり方として本人を中心とし家族・医療・ケア提供者などの協働行為として意識的につなげ悔いのない看取りをみんなで考えていきたいと思いますとの内容でした。

講演の後の質問も多く看取り時の多職種の協働、施設の方針等で悔いのない看取りについての困難さの課題があり交流の場の必要性を感じました。

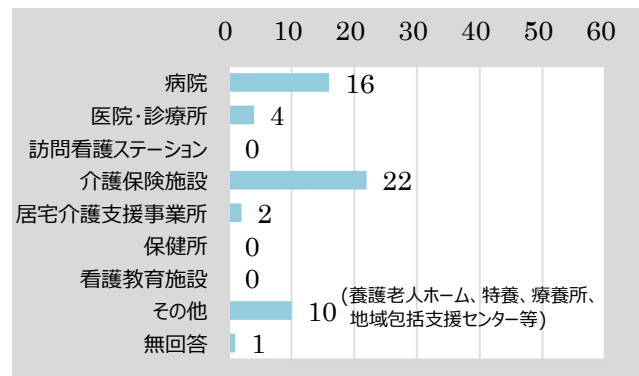
これからも、看護師職能委員会は課題発見と意見集約の機能を果たし活動をしていきます。引き続き、よろしく願い致します。

アンケート集計結果

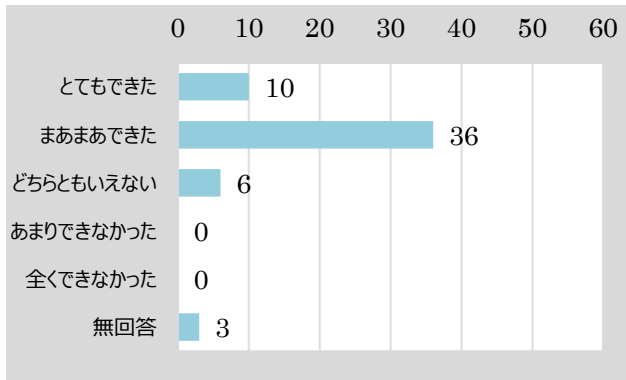
支部



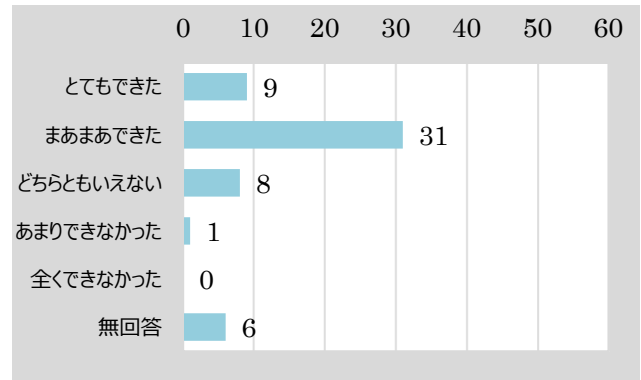
勤務施設



自施設の看取りを知り、課題を明らかにできたか



地域ネットワークの構築の場とできたか



集会への意見（抜粋）

- ・在宅-特養と場所が違っても看取りへの考えは同じと感じた。事例を通し自施設でも個別のかかわりができる可能性を感じた。参加してよかった。
- ・現在病院に所属しているが、在宅-施設での看取りケアの温かみを、病院は学ぶべきだと改めて思った。病院でできることと在宅でできることはまた違うが、関わり方として今日のことをいかにすることができる部分もたくさんあると思った。
- ・他施設での看取りに対する取り組みの事例を通して自施設の課題を少し見出すことができた。（職員教育、多職種がどう関わって協働していくか、それぞれの職種の役割を今一度見直し、ご利用者の最期に寄り添うことができるのか）グループワークを通し、様々な意見交換ができ勉強になった。
- ・認知症があっても意見をきちんと言える時もあるので本人にも聞くことが大切なんだと考えさせられた。
- ・病院での看取りは医師との関わりもあり難しい。
- ・多職種の方や、施設、病院の方と色々な意見交換が出来てよかった。また参加したい。
- ・10時からだと遠方でも参加しやすい。

今後の取り上げてほしいテーマや講師

- ・訪問看護の新人教育について。
- ・高齢化にむけて看取りに関わることは大切になってくるケアでもあるので、今後も定期的にこのような会を設けてほしい。また、エンゼルケアについても新しい情報を知りたい。
- ・家族も含めたデスカンファレンスのお話をしてくださった方の続きが聞きたい。
- ・感染について。
- ・リスクマネジメントについて。
- ・色々な施設の話や、近い地域の人とも話がしてみたいので、また企画してほしい。
- ・最新の看護ケア。

現在困っていることや情報交換したいこと、岡山看護協会へのご意見・ご要望

- ・介護施設にはナースが1人のことが多い。看取りをするにも教育する時間を作ることで、教育の必要性を伝えることができていない。1人では何からしていけばよいのか悩み、動けないでいる。
- ・グリーフケアについて専門的な講義があれば参加したい。多職種連携についても知識を深めたいので在宅サービスや在宅診療算定についても知りたい。
- ・病院の看護師と在宅の看護師の連携の仕方。
- ・精神疾患の方との関わり方。
- ・職員不足。
- ・Dr. からのパワハラが多い。新人スタッフや若いスタッフの離職が多い。